

# ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第3号 平成29年10月1日

進塁する気持ちが・・・

二部春優勝チームにきっちりリベンジ!

	1	2	3	4	5	6	7	8	R
G	0	0	7	1	0	0			8
M	0	0	1	0	1	0			2



本日は区民秋季大会。  
 相手は春の大会で惜敗したグリーンモンスター。リベンジの一戦でした。結果は8-2で見事リベンジを果たしベスト16進出を決めました。この日 先攻のゴーヘッドズは1,2回を無得点に抑えられたものの、3回に相手守備の乱れに乗じて猛攻を見せる。この回 先頭の清水が相手エラーで出塁すると、自慢の快速で2盗を決め無死2塁と相手守備陣にプレッシャーをかける。ここで1番 深澤はチームバッティングに徹しキッチリ転がすと、相手三塁手が後逸、これを見て清水が本塁を狙うも憤死。しかし、相手守備の乱れは止まらない。続く須藤の三塁ゴロをまたもやファンブルし、1死1、3塁と攻め立てる。この好機に佐藤が右前に技ありの先制打を放つ。なおも、中村が四球で繋ぐと徳永の一塁ゴロがまたまた失策となり須藤が生還し2点目。しかし、この日一番の見せ場はこの後…6番 加藤が満塁の走者一掃の二塁打を放ち止めを刺した。一方、守備陣も随所で好プレーを見せる。圧巻は3回の1死1、3塁のピンチの場面。左翼への安打性の打球に清水が飛び込み、地面スレスレで好補、このプレーで失点を最小限に止めた。ゴーヘッドズのビッグニングの後だっただけに、相手の反撃の気運を潰したビッグプレーだ。また、そうした派手なプレーだけではなく、一塁 中村は上に下に乱れる送球を難なく処理し、二塁 太丸も嫌な雰囲気の中でもハートの強さを見せ堅実に捌いてみせた。こうした細かい守備の貢献で守りに悪い流れを作らなかった事が、松本を投球に専念させ、彼本来のピッチングをさせることができた。攻撃では、走者を進めることを優先的に意識し、走者は打球が転がりさえすれば進塁してみせるといった準備を怠らない。守備では送球が乱れても必死で補給するなど、味方の失敗をカバーし、結果的に失敗にすることなく投手を助け、守備が乱れた時には投手が踏ん張る…まさに、one for all, all for one! 質の高い野球でした。ナイスゲーム!!

でも、次を落としたら 今日の素晴らしい勝利は無意味となります。浮かれることなく次戦も引き締めたプレーを期待してます。